

ゆぎょうじ 遊行寺だより



ホームページでも
配信しています

今年は全国的に桜の開花が早いようで、遊行寺のシダレザクラ、ソメイヨシノもすでに見頃となっております。
ぜひ春盛りの遊行寺へお越しください。

◆ 今月の行事予定

- ・ ^{しゃきようえ}写経会【8日（日）午後1時】
どなたでも気軽に写経の体験ができます。
受付は12時半からです。（御志納1,000円）
手ぶらでご参加いただけ、終了時間は自由です。
- ・ ^{しゃくそんごうたんえ}釈尊降誕会（花まつり）【8日（日）】
お釈迦様の誕生日をお祝いいたしましょう。
本堂内に花御堂を飾り、甘茶と花の種をお配りします。
お子様にはお菓子のプレゼントも！
＊法要は午前5時半と10時の2回行います。
- ・ ^{しゅんきかいさんき}春季開山忌【21日（土）～24日（火）】
当山を開かれた吞海上人の忌日法要を行います。
期間中、各家先祖供養を受付いたします。
行事日程は別紙もしくはホームページをご覧ください。
- ・ ^{げつれいほうわかい}月例法話会【23日（月）午後3時】
今月は本堂にて行います。ご参加は自由です。
当月講師：時宗布教伝道研究所
静岡県富士市 泰徳寺 木本鑑乗 師



お稚児さん募集

春季開山忌



◆ 今月の催事予定

- ・ 骨董市【1（日）、15日（日）】
毎月第1日曜日…^{のみ}蚤の市 
〈問合せ：090-4416-2168（石田様）〉
毎月第3日曜日…ボロ市
〈問合せ：090-2660-6935（中島様）〉
＊午前7時より午後4時まで（雨天中止）
- ・ 寺ヨガ【15日（日）】
＊今月は当山の行事のため、日程変更があります
毎月第2日曜日 於：大書院
9時～ / 11時～ / 1時～（各1時間）
〈問合せ：090-4365-5034（ナーニヤ先生）〉
- ・ 野菜市【4、11、18、25日（水）】
毎週水曜日 午前中出店・雨天中止

< ご報告 >

お陰様をもちまして、本年度も8名の在^{ざい}堪生（修行僧）を迎えることができました。それぞれ時宗の僧侶になるべく、全国から総本山に参ります。今後とも温かく見守りくださいますよう宜しくお願い申し上げます。

今年も春季開山忌にご参加いただけるお稚児さんを広く募集いたします。お申し込みや詳細のお問い合わせは寺務所（☎0466-22-2063）までお願いします。申込用紙はホームページからもダウンロードしていただけます。

1. 集合時間 4月23日 昼12:30 集合
2. 集合場所 遊行寺 御番方（寺務所 脇）
3. 行列開始 午後1:30 開始
4. 行列場所 境内を通過して本堂へ（雨天の場合は、百間廊下～本堂）
5. 参加費 参加無料【ただし記念写真代は別途1,000円頂戴します。】
6. 受付人数 30名 定員（※定員になり次第 締め切り）



信じるということ

宗教においては、「信じる者は救われる」、「鯛の頭も信心から」といったように、「信じる」という言葉がしばしば言及されます。

時宗を含めた浄土門では名号「南無阿弥陀仏」をお称えしますが、この「南無」とは「帰依します」、「信じます」という意味です。ここでいう「南無＝信じる」とは、絶対的な信服の表明であり、少しも疑わないことを指しています。ですから、信じる相手と言うのは全てを任すことができる存在、間違いない存在でなければいけません。私たちが普段「友人を信じる」「無実を信じる」といったように使う時とはニュアンスが少し異なるかとも思います。

さて、一遍上人は「信じていても信じていなくてもお念仏を申せば極楽浄土に往生できる」と説かれたことから、しばしば一遍上人は「信心」を全否定されていると評されることがありますが、そうではありません。一遍上人が否定されているのは自力の信心、つまり“自分はこれだけ信じているから救われるはずだ”というような考え方です。むしろどちらかといえば、自分には信仰心や仏道修行の心がなかなか起こらないから阿弥陀仏の本願に頼むしかない、お任せするしかないという気持ちが信心なのです。ですから、一遍上人は「信じる」とは「任せる」ことだと表現されたのです。

ところで、科学技術の発展した現代社会は目に見えないものや、原理の分からないものを信用しない傾向があるように思います。と同時に様々な情報があふれ、何を信じていいかもわからないような世の中でもあります。また近年宗教心、信仰心が薄れているとも言われます。信仰とは、非科学的なものを妄信することなどではなく、人間は間違いを犯しうるという謙虚さを忘れず、絶対的な存在に心を任せるということではないでしょうか。その存在が、阿弥陀仏であり、仏法（仏様の教え）であると一遍上人は説かれています。「人間万事塞翁が馬」とはいいますが、日ごろ価値判断にとらわれ、喜びや憂い、幸せや不幸せ、楽や苦にコロコロと翻弄される私たちも、仏様に手をあわせ、その絶対性（大いなる平等）に触れるとき、とらわれない心が生まれるのではないのでしょうか。

合掌 （山務書記：高垣浩然）

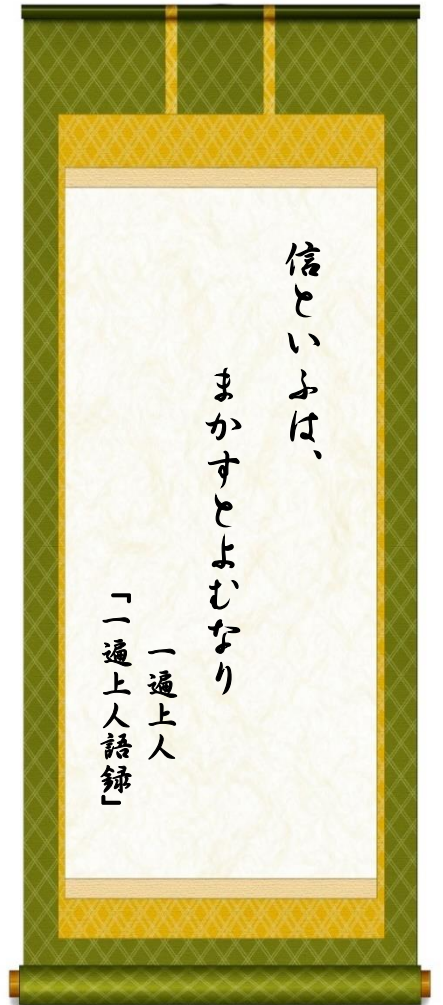
facebook

フェイスブックでも遊行寺の様子や情報を配信しています。
最新記事をお読みいただけますので、ぜひ“いいね！”してください♪

時宗総本山 〒251-0001 神奈川県藤沢市西富 1-8-1
遊行寺 TEL:0466(22)2063 FAX:0466(23)8243
ホームページ: <http://www.jishu.or.jp>

宗祖の

今月のおことば



～一遍上人のおこころ～

「信じる」ということは「任す」ということです。私たちが任せる相手は他者の心であり、他者とは仏法、阿弥陀仏、他力のことを指しています。天運に任せきることを信じるというのです。

あみだくじ

